■浜田庄司 陶芸家。リーチに従いイギリスで成功。帰国後、生涯益子で、独自の“民芸派”作品を次々と生み出した。

はまだしょうじ

日清戦争始・1894＝ 神奈川県高津村(川崎市高津区)に生まれる。生家は東京芝で文房具店を営む。

日比谷公園・1903＝ 9歳：

日露戦争終・1905＝11歳：

アヲヲ 創刊・1908＝14歳：東京府立第一中学校に入学。

在学中にバーナード・リーチや富本憲吉の陶器の陳列してある銀座の画廊にしばしば立ち寄る。

明治天皇没・1912＝18歳：

大正政変・1913＝19歳：卒業し、板谷波山に憧れ東京高等工業学校窯業科に入学する。波山に学び、先輩の河井寛次郎を知る。

第一次大戦始1914＝20歳：

民本主義・1916＝22歳：東京高等工業学校を卒業し、京都市陶磁器試験場に入所。河井と下宿をともにし技術、粕葉の研究にはげむ。奈良県安堵村の富本憲吉を訪問。

本格政党内閣1918＝24歳：河井寛次郎と初めて沖繩の壺屋の窯場を訪ねる。東京でのリーチ展会場にてリーチの面識をえる。

ベルリン条約・1919＝25歳：リーチが窯を築いていた千葉県我孫子の柳宗悦宅を訪問。

大暴落・1920＝26歳：かねて板谷波山から聞いていた栃木県益子を初めて訪れる。帰国するリーチに誘われ、陶磁器試験場を辞職し、ともにイギリスに渡る。セント・アイヴズで作陶活動を開始する。

原敬首相暗殺1921＝27歳：

水平社結成・1922＝28歳：スリップ・ウェアの制作に初めて成功する。

関東大震災・1923＝29歳：*ロンドン一流のギャラリーであったパタアソンズ・ギャラリーで最初の個展を開催。個展は好評でセント・アイヴズで制作した作品約80点のほとんどが売れる。

護憲三派圧勝1924＝30歳：*帰国。神戸から京都の河井寛次郎のもとを訪れる。益子に入り、間借り生活のなか作陶を開始する。

治安維持法・1925＝31歳：柳、河井と伊勢、紀州を旅行し、民芸への関心を深め、

日本時代始・1926＝32歳：日本民芸美術館設立趣意書を柳、河井、富本と連名で発表。

金融恐慌・1927＝33歳：

海軍軍縮条約1930＝36歳：益子に近隣の農家を買収し、移築して住居とする。

満州事変・1931＝37歳：登り窯を築く。

日中戦争始・1937＝43歳：

第二次大戦始1939＝45歳：

日米開戦・1941＝47歳：

1942＝48歳：8室の大型登り窯を増築、さらに民家を移築し細工場などを整備する。

敗戦・1945＝51歳：

極東裁判判決・1948＝54歳：

朝鮮戦争始・1950＝56歳：

独立回復・1951＝57歳：

マーゲ-事件・1952＝58歳：イギリスでの国際工芸家会議に出席のため柳宗悦らと渡欧。イタリア、スペイン、北欧を歴訪した後、リーチとアメリカに渡り各地の大学で陶器の講習会を開催する。

55年体制始・1955＝61歳：重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定される。

なべ底不況・1957＝63歳：

安保闘争・1960＝66歳：

全国総合計画1962＝68歳：*柳宗悦が死去、後を継ぎ2代目日本民芸館の館長となり、全世界の民芸品蒐集に尽力。

TV宇宙中継始1963＝69歳：ワシントン日米文化教育会議に出席。アメリカの3都市で個展、講習会を開く。その後、イギリスのリーチのもとを訪ね、共同でパリで陶器展を開催する。

東京オリンピック1964＝70歳：

大学紛争始・1965＝71歳：ニュージーランド、オーストラリアで個展や陶器講習会を開催する。

いざなぎ景気1966＝72歳：

美濃部都知事1967＝73歳：ミシガン大学より名誉学位を贈られる。

霞ヶ関ビル1968＝74歳：多年にわたる民芸運動の功績で文化勲章を受章する。

大阪万博・1970＝76歳：

石油ショック1973＝79歳：ロンドン王立美術大学より名誉学位を贈られる。

角栄金脈辞任1974＝80歳：随筆集「無尽蔵」、

クワンゴール事件1975＝81歳：

田中角栄逮捕1976＝82歳：随筆集「窯にまかせて」、

JALハイジャック・1977＝83歳：益子の邸内に自らの蒐集コレクションを展示する益子参考館を開設して、

成田衝突・1978＝84歳：没した。

中ノ堂一信「近代日本の陶芸家」、没年日本史人物事典、平凡社百科事典、「目でみる日本人物百科」、